

# 令和2年度事業計画

公益財団法人 滋賀県国際協会

## 1 基本方針

滋賀県の外国人人口は、令和元年末には32,995人で、前年と比べて3,732人の増加となった。また、国籍数は108か国1地域であり、ますます多様化している。また、在留資格別割合をみると、中長期滞在が可能な「永住者」、「定住者」と「特別永住者」の割合が6割超となっている。

このことから、幅広い生活情報の提供により外国人が自立して生活できるようサポートすることや、外国にルーツを持つ子どもを、次世代を担う大切な人材として育成するための教育および地域で育てる環境づくりが一層必要となっている。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響による経済悪化に伴う外国人県民等の生活への影響が懸念されることから、外国人相談窓口の充実にも引き続き努める。

近年、国際交流ボランティア活動や外国人県民等との共生に伴う地域の課題等に対する社会的関心の高まりから、国際交流や国際協力、多文化共生の地域づくりなどの取組を主体的に行う県民や市民活動団体が増え、その活動も活発化している。

今年度は、こうした社会情勢や地域の状況を踏まえ、当協会の基盤の充実と業務の効率化を図りつつ、県内における国際交流活動や多文化共生社会づくりを推進する中核的組織として、市町の国際交流協会との役割分担を明確にし、広域的・専門的な課題に取り組む。また、県民や市民活動団体、企業、行政と連携・協働し、地域の特性を生かした活動を展開する。

さらに、2015年度に策定した第2期中期計画が最終年を迎えることから、5年間の評価を行い、滋賀県が定める「滋賀県基本構想」や昨年度改定された「滋賀県多文化共生推進プラン（第2次改定版）」と方向性を同じくし、「国際感覚に優れたひとづくり」、「多文化共生の地域づくり」、「ボランティア、市民活動団体の活動促進」および「情報収集・提供による環境づくり」を目指し、総合的・計画的に事業を推進するとともに、新たな中期計画の策定を行う。

## 2 事業計画

### (1) 地域での国際教育の推進

次世代を担う子どもたちをはじめ、すべての地域住民が、地球規模の課題や地域課題の解決に向けた取組を始めることができるように、ファシリテーター（進行役）の養成やオリジナル国際教育教材の研究、普及啓発を行い、当協会がコーディネーター役として、国際教育の普及、促進に努める。

### (2) 国際交流の推進

#### ア 姉妹友好州省および友好地域との交流

姉妹友好州省やその他友好地域との交流を促進するため、使節団等の派遣・受入を行う。

#### イ ミシガン州立大学連合日本センターの管理運営

ミシガン州立大学連合日本センターの施設管理および運営の推進業務を滋賀県から受託し、ミシガン州立大学連合日本センターの円滑なプログラム推進および滋賀県とミシガン州との文化、教育等の交流促進を図り、地域における国際交流の拠点づくりに努める。

#### ウ 裾野を広げる国際交流

滋賀県在住外国人アーティスト展を開催し、県民に多様で豊かな文化を実感してもらい、国際交流に関心

を持つ県民の裾野を広げる。

(3) 国際協力の促進

独立行政法人国際協力機構（JICA）滋賀デスクの国際協力推進員と連携し、国際協力に関する情報発信や相談に対応する。

(4) 多文化共生の地域づくり

ア 外国人県民等への支援

外国人県民等のための一元的相談窓口として運営する「しが外国人相談センター」において、外国人県民等からの様々な相談に対して、必要な情報の提供や助言を行う。ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語（タガログ語）、英語およびベトナム語を含む12言語に対応する。併せて、各種情報を提供するため、外国人向け情報紙を発行する。

また、進路支援事業では、進学のみならず就労に関する情報を得る機会を子どもと保護者に提供する場として、「進路フェア」を開催する。

イ 外国籍学生への支援

県内の短期大学、大学および大学院に在籍する私費留学生で、経済的援助が必要と認められ、学習意欲が高く、かつ学業成績の優秀な者に対し、奨学金を支給することにより、生活の安定と学習活動を奨励する。

ウ 多文化共生によるまちづくり

日本人と外国人県民等が日頃から互いを助け合えるような顔のみえる関係づくりのために、行政、地域住民および市町の国際交流協会等が連携して、地域の共通課題である防災活動の啓発を行い、多文化共生の地域づくりを推進する。今年度は、「防災サバイバル啓発事業」を実施する。

(5) 情報の収集および提供

県内の国際交流、国際協力に関する情報誌を発行するとともに、ホームページやfacebook、国際情報サロンを活用した情報発信を行う。

(6) 海外渡航の支援

海外の安全情報や渡航に関する情報等を県民に提供する。また、パスポート用の写真撮影を行う。

(7) ボランティア活動の促進

国際交流、国際協力および多文化共生の地域づくりに関するボランティアの活動を促進する。

(8) 市民活動団体の支援、ネットワークの強化

地域に根ざした国際交流を推進するため、県民の国際交流ボランティアへの参画を促進し、滋賀県国際交流推進協議会事業を通して市民活動団体とのネットワーク強化に努める。

(9) 基盤整備

2015年度に策定した第2期中期計画が最終年を迎えることから、5年間の評価を行い、新たな中期計画の策定を行う。

# 収 支 予 算 書

自 令和 2 年 4 月 1 日  
至 令和 3 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	3,361	3,363	△	2
特定資産運用益	3,003	3,003		-
受取会費	2,220	2,220		-
事業収益	19,343	26,400	△	7,057
受取補助金等	64,055	72,686	△	8,631
受取負担金	2,660	2,660		-
受取受託金	45,144	42,969		2,175
受取寄付金	160	160		-
雑収益	3	6	△	3
経常収益計	139,949	153,467	△	13,518
(2) 経常費用				
事業費	134,082	149,569	△	15,487
管理費	8,071	8,340	△	269
経常費用計	142,153	157,909	△	15,756
(うち人件費)	58,766	59,047	△	281
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,204	△ 4,442		2,238
評価損益等計	-	-		-
当期経常増減額	△ 2,204	△ 4,442		2,238
当期一般正味財産増減額	△ 2,204	△ 4,442		2,238
一般正味財産期首残高	7,785	12,227	△	4,442
一般正味財産期末残高	5,581	7,785	△	2,204
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
基本財産運用益	3,189	3,191	△	2
特定資産運用益	2,989	2,989		-
一般正味財産への振替額	△ 6,364	△ 6,366		2
当期指定正味財産増減額	△ 186	△ 186		-
指定正味財産期首残高	722,487	722,673	△	186
指定正味財産期末残高	722,301	722,487	△	186
<b>III 正味財産期末残高</b>	727,882	730,272	△	2,390

# 収 支 予 算 書 内 訳 表

自 令和 2 年 4 月 1 日  
至 令和 3 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	2,968	—	393	—	3,361
特定資産運用益	3,003	—	—	—	3,003
受取会費	1,110	—	1,110	—	2,220
事業収益	115	19,228	—	—	19,343
受取補助金等	57,281	326	6,448	—	64,055
受取負担金	10	2,500	150	—	2,660
受取受託金	45,144	—	—	—	45,144
受取寄付金	160	—	—	—	160
雑収益	1	1	1	—	3
経常収益計	109,792	22,055	8,102	—	139,949
(2) 経常費用					
事業費	115,811	18,271	—	—	134,082
管理費	—	—	8,071	—	8,071
経常費用計	115,811	18,271	8,071	—	142,153
(うち人件費)	50,307	2,636	5,823	—	58,766
評価損益等調整前当期経 常増減額	△ 6,019	3,784	31	—	△ 2,204
評価損益等計	—	—	—	—	—
当期経常増減額	△ 6,019	3,784	31	—	△ 2,204
他会計振替額	3,537	△ 3,537	—	—	—
当期一般正味財産増減額	△ 2,482	247	31	—	△ 2,204
一般正味財産期首残高	△ 5,066	8,392	4,459	—	7,785
一般正味財産期末残高	△ 7,548	8,639	4,490	—	5,581
<b>II 指定正味財産増減の部</b>					
基本財産運用益	2,816	—	373	—	3,189
特定資産運用益	2,989	—	—	—	2,989
一般正味財産への振替額	△ 5,971	—	△ 393	—	△ 6,364
当期指定正味財産増減額	△ 166	—	△ 20	—	△ 186
指定正味財産期首残高	671,852	—	50,635	—	722,487
指定正味財産期末残高	671,686	—	50,615	—	722,301
<b>III 正味財産期末残高</b>	664,138	8,639	55,105	—	727,882

# 資金調達および設備投資の見込みについて

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

## 1 資金調達の見込みについて

なし

## 2 設備投資の見込みについて

なし

# 令和元年度事業報告

公益財団法人 滋賀県国際協会

当協会は、滋賀県における国際交流活動を推進する中核的な団体として幅広い国際交流事業を展開しており、令和元年度には、協会設立40周年を迎えたことから、節目としての記念事業を開催した。また、ミシガン州や湖南省との姉妹友好提携による使節団（交流団）の受入れ事業を滋賀県と連携し取り組んだほか、外国にルーツを持つ青少年の進路選択の一助となるよう進路フェアを開催した。その他、県内の外国人県民等のための一元的相談窓口として従来の外国人相談窓口を拡充し、「しが外国人相談センター」と改称し、地域における外国人県民等に対し多岐にわたる支援に努め、行政、市民活動団体間の連携を促進し、外国人県民等が地域の一員として生活しやすい共生社会づくりに努めた。

また、学校教育や社会教育で行われる国際教育を推進するため、国際教育に関する実践例や教材等の情報提供に努めるとともに、人材の育成に取り組んだ。

## 1 地域での国際教育の推進

- |                                   |           |     |     |          |
|-----------------------------------|-----------|-----|-----|----------|
| (1) 国際教育研究会「Global net Shiga」の開催  | 研究会議      | 9回  | 参加者 | 延べ 104人  |
| (2) 国際教育教材体験フェアの開催                | 8月9日      | 大津市 | 参加者 | 57人      |
| (3) 国際教育ファシリテーター養成講座の開催           | 11月23日    | 大津市 | 参加者 | 22人      |
| (4) 国際理解講演会「協会設立40周年記念講演会」の開催     | 11月30日    | 大津市 | 参加者 | 173人     |
| (5) 国際教育オリジナル教材の貸出および販売           |           |     |     |          |
| ア 「ブラジルボックス」の貸出31件                |           |     |     |          |
| イ 「非識字体験ゲーム」の貸出2件、販売16件           |           |     |     |          |
| ウ 「言葉がわからない体験ゲーム（震災編）」の貸出3件、販売19件 |           |     |     |          |
| エ 「わたしん家の食事から カードゲーム版」の貸出4件、販売14件 |           |     |     |          |
| (6) 国際教育研修等への講師派遣                 | 23件、延べ38人 |     | 参加者 | 約 2,300人 |

## 2 国際交流の推進

- (1) 姉妹友好州省および友好地域との交流
  - ア ミシガン州友好親善使節団の受入 期間 8月18日～22日（うちホームステイ4泊5日）受入人員 30人
- (2) ミシガン州立大学連合日本センターの管理運営
  - ア 施設の維持管理
  - イ ミシガン州立大学連合日本センター運営の支援
    - (ア) ミシガン州からの留学生を対象とした関連プログラム（日本語・日本文化講座）の運営支援
    - (イ) 県民向け英語プログラムの運営支援（近江八幡教室、彦根教室、土曜子ども英語教室等）
    - (ウ) ミシガン州立大学連合日本センターを利用した地域との交流プログラムの実施
    - (エ) その他プログラム（国内留学プログラム等）の運営支援
- (3) 裾野を広げる国際交流
  - ア 外国人アーティスト絵画展 in ピアザ淡海  
年1回 参加アーティスト1人（シンガポール）

### 3 国際協力の促進

独立行政法人国際協力機構（JICA）滋賀デスクの国際協力推進員と連携し、国際協力に関する情報発信や相談に対応した。

### 4 多文化共生の地域づくり

#### (1) 外国人県民等への支援

- ア 外国人相談窓口の設置 月曜日～金曜日 10:00～17:00  
対応言語：ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、英語、ベトナム語、インドネシア語他 相談件数 950件
- イ 外国人のための手づくり情報紙「みみタロウ」の発行 年4回 8言語 18,000部/回
- ウ 相談員研修会・連絡会議の開催 2月5日 大津市 参加者 19人
- エ 外国にルーツを持つ子どもへの教育支援
- (ア) 子どもへの日本語指導者養成講座 8月20日 大津市 参加者 48人
- (イ) 進路フェアの開催 10月20日 近江八幡市 参加者 70人
- オ 日本語指導者養成講座の開催（びわこ日本語ネットワークとの共催）  
7月28日、8月25日、9月22日 野洲市 参加者 70人
- カ 災害時の外国人支援
- (ア) 近畿地域国際化協会連絡協議会災害時外国人支援研究会への参加 4回
- (イ) 消防職員への外国人対応に関する研修会への講師派遣 2件 参加者 71人
- キ 多文化共生に関する研修等への講師派遣等 21件 参加者 796人
- (2) 外国籍学生への支援
- 外国籍学生への奨学金の支給 支給人員 13人 支給額 月額20,000円/人
- (3) 多文化共生によるまちづくり
- ア 防災から広げる共生のまちづくり事業
- 外国人向け防災教室の実施 2月22日 湖南市 参加者 22人
- イ 多文化共生に関する情報提供およびアドバイス等 相談件数 100件

### 5 情報の収集および提供

- (1) 国際交流・協力情報誌「S I A しーあ」の発行 年3回 日本語 2,500部/回
- (2) メールマガジン「滋賀県国際交流ニュース」の配信 年12回
- (3) ホームページおよびfacebookによる情報提供
- (4) 国際情報サロンによる情報提供

### 6 海外渡航の支援

- (1) 渡航相談、海外情報の提供
- (2) パスポート用写真撮影 撮影時間 月曜日～金曜日 9:00～16:30

### 7 ボランティア活動の促進

- (1) 滋賀県国際協会ボランティア“S I A<sup>しーあ</sup>ボランティア”の登録および活動促進 登録者 延べ 271人

(通訳、翻訳、ホームビジット、ホームステイ、国際交流支援)

(2) 災害時外国人サポーターの登録および活動促進 登録者 113人

## 8 市民活動団体の支援、ネットワークの強化

(1) 滋賀県国際交流推進協議会（69団体加盟）の開催 全体会議等 2回 研修会 2回  
(2) 国際交流推進セミナーの開催 7月4日 大津市 参加者 47人

## 9 基盤整備

(1) 協会設立40周年記念事業  
記念式典、滋賀国際交流賞授与、記念講演会の開催 11月30日 大津市 参加者 173人



# 正味財産増減計算書

自 平成 31 年 4 月 1 日  
至 令和 2 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	3,361,355	3,449,092	△ 87,737
特定資産運用益	3,000,519	3,000,517	2
受取会費	2,069,000	2,136,000	△ 67,000
事業収益	24,102,526	27,698,258	△ 3,595,732
受取補助金等	65,793,776	50,211,048	15,582,728
受取負担金	2,781,570	2,659,100	122,470
受取受託金	40,666,662	45,740,657	△ 5,073,995
受取寄付金	211,800	2,132,793	△ 1,920,993
雑収益	295,207	266,510	28,697
経常収益計	142,282,415	137,293,975	4,988,440
(2) 経常費用			
事業費	136,619,508	128,933,643	7,685,865
管理費	8,129,442	8,450,621	△ 321,179
経常費用計	144,748,950	137,384,264	7,364,686
(うち人件費)	57,069,101	52,522,309	4,546,792
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,466,535	△ 90,289	△ 2,376,246
評価損益等計	-	-	-
当期経常増減額	△ 2,466,535	△ 90,289	△ 2,376,246
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	-	-	-
(2) 経常外費用			
什器備品除却損	1	-	1
経常外費用計	1	-	1
当期経常外増減額	△ 1	-	△ 1
当期一般正味財産増減額	△ 2,466,536	△ 90,289	△ 2,376,247
一般正味財産期首残高	43,912,523	44,002,812	△ 90,289
一般正味財産期末残高	41,445,987	43,912,523	△ 2,466,536
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
基本財産運用益	3,188,921	3,277,503	△ 88,582
特定資産運用益	2,986,419	2,986,417	2
一般正味財産への振替額	△ 6,361,874	△ 6,449,609	87,735
当期指定正味財産増減額	△ 186,534	△ 185,689	△ 845
指定正味財産期首残高	722,673,712	722,859,401	△ 185,689
指定正味財産期末残高	722,487,178	722,673,712	△ 186,534
<b>III 正味財産期末残高</b>	763,933,165	766,586,235	△ 2,653,070

# 正味財産増減計算書内訳表

自 平成 31 年 4 月 1 日  
至 令和 2 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	2,968,077	—	393,278	—	3,361,355
特定資産運用益	3,000,519	—	—	—	3,000,519
受取会費	1,034,500	—	1,034,500	—	2,069,000
事業収益	80,610	24,021,916	—	—	24,102,526
受取補助金等	59,160,388	333,643	6,299,745	—	65,793,776
受取負担金	131,570	2,500,000	150,000	—	2,781,570
受取受託金	40,666,662	—	—	—	40,666,662
受取寄付金	211,800	—	—	—	211,800
雑収益	291,915	129	3,163	—	295,207
経常収益計	107,546,041	26,855,688	7,880,686	—	142,282,415
(2) 経常費用					
事業費用	114,118,480	22,501,028	—	—	136,619,508
管理費用	—	—	8,129,442	—	8,129,442
経常費用計	114,118,480	22,501,028	8,129,442	—	144,748,950
(うち人件費)	48,459,865	2,635,441	5,973,795	—	57,069,101
評価損益等調整前当期経 常増減額	△ 6,572,439	4,354,660	△ 248,756	—	△ 2,466,535
評価損益等計	—	—	—	—	—
当期経常増減額	△ 6,572,439	4,354,660	△ 248,756	—	△ 2,466,535
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	—	—	—	—	—
(2) 経常外費用					
什器備品除却損	1	—	—	—	1
経常外費用計	1	—	—	—	1
当期経常外増減額	△ 1	—	—	—	△ 1
他会計振替額	4,065,076	△4,065,076	—	—	—
当期一般正味財産増減額	△ 2,507,364	289,584	△ 248,756	—	△ 2,466,536
一般正味財産期首残高	28,710,450	10,130,178	5,071,895	—	43,912,523
一般正味財産期末残高	26,203,086	10,419,762	4,823,139	—	41,445,987
<b>II 指定正味財産増減の部</b>					
基本財産運用益	2,815,818	—	373,103	—	3,188,921
特定資産運用益	2,986,419	—	—	—	2,986,419
一般正味財産への振替額	△ 5,968,596	—	△ 393,278	—	△ 6,361,874
当期指定正味財産増減額	△ 166,359	—	△ 20,175	—	△ 186,534
指定正味財産期首残高	673,239,188	—	49,434,524	—	722,673,712
指定正味財産期末残高	673,072,829	—	49,414,349	—	722,487,178
<b>III 正味財産期末残高</b>	699,275,915	10,419,762	54,237,488	—	763,933,165

# 貸借対照表

令和 2 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金預金	27,318,222	29,621,215	△ 2,302,993
未収金	25,405	116,162	△ 90,757
預託金	11,440	11,440	-
立替金	5,497	3,586	1,911
流動資産合計	27,360,564	29,752,403	△ 2,391,839
2 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	2,752,269	2,752,269	-
定期預金	38,261,314	38,261,314	-
投資有価証券	394,838,533	395,010,967	△ 172,434
基本財産合計	435,852,116	436,024,550	△ 172,434
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	27,422,563	25,440,581	1,981,982
減価償却引当資産	3,280,389	5,050,417	△ 1,770,028
びわこ奨学金基金	300,142,325	300,156,425	△ 14,100
びわこ奨学金基金積立資産	5,178,000	5,178,000	-
協会50周年準備資金積立資産	250,000	1,400,000	△ 1,150,000
その他受取寄付金(研修)	514,578	402,778	111,800
特定資産合計	336,787,855	337,628,201	△ 840,346
(3) その他固定資産			
建物附属設備	911,276	-	911,276
車両運搬具	1	1	-
什器備品	869,253	15,366	853,887
その他固定資産合計	1,780,530	15,367	1,765,163
固定資産合計	774,420,501	773,668,118	752,383
資産合計	801,781,065	803,420,521	△ 1,639,456
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	10,157,372	10,804,478	△ 647,106
預り金	267,965	589,227	△ 321,262
流動負債合計	10,425,337	11,393,705	△ 968,368
2 固定負債			
退職給付引当金	27,422,563	25,440,581	1,981,982
固定負債合計	27,422,563	25,440,581	1,981,982
負債合計	37,847,900	36,834,286	1,013,614
<b>III 正味財産の部</b>			
1 指定正味財産			
寄付金	722,487,178	722,673,712	△ 186,534
指定正味財産合計	722,487,178	722,673,712	△ 186,534
(うち基本財産への充当額)	(422,344,853)	(422,517,287)	(△ 172,434)
(うち特定資産への充当額)	(300,142,325)	(300,156,425)	(△ 14,100)
2 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	41,445,987	43,912,523	△ 2,466,536
(うち特定資産への充当額)	(13,507,263)	(13,507,263)	(-)
(うち特定資産への充当額)	(9,222,967)	(12,031,195)	(△ 2,808,228)
正味財産合計	763,933,165	766,586,235	△ 2,653,070
負債及び正味財産合計	801,781,065	803,420,521	△ 1,639,456

# 貸借対照表内訳表

令和 2 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内部取 引消去	合 計
<b>I 資 産 の 部</b>					
1 流 動 資 産					
現金預金	13,201,197	11,388,802	2,728,223	—	27,318,222
未収金	1,626	23,779	—	—	25,405
預託金	11,440	—	—	—	11,440
立替金	5,497	—	—	—	5,497
流動資産合計	13,219,760	11,412,581	2,728,223	—	27,360,564
2 固 定 資 産					
(1) 基 本 財 産					
普通預金	2,430,254	—	322,015	—	2,752,269
定期預金	33,784,741	—	4,476,573	—	38,261,314
投資有価証券	348,642,424	—	46,196,109	—	394,838,533
基本財産合計	384,857,419	—	50,994,697	—	435,852,116
(2) 特 定 資 産					
退職給付引当資産	24,449,926	—	2,972,637	—	27,422,563
減価償却引当資産	2,896,583	—	383,806	—	3,280,389
びわこ奨学金基金	300,142,325	—	—	—	300,142,325
びわこ奨学金基金積立資産	5,178,000	—	—	—	5,178,000
協会50周年準備資金積立資産	250,000	—	—	—	250,000
その他受取寄附金(研修)	514,578	—	—	—	514,578
特定資産合計	333,431,412	—	3,356,443	—	336,787,855
(3) そ の 他 固 定 資 産					
建物附属設備	911,276	—	—	—	911,276
車両運搬具	1	—	—	—	1
什器備品	625,862	104,311	139,080	—	869,253
その他固定資産合計	1,537,139	104,311	139,080	—	1,780,530
固定資産合計	719,825,970	104,311	54,490,220	—	774,420,501
資産合計	733,045,730	11,516,892	57,218,443	—	801,781,065
<b>II 負 債 の 部</b>					
1 流 動 負 債					
未払金	9,051,924	1,097,130	8,318	—	10,157,372
預り金	267,965	—	—	—	267,965
流動負債合計	9,319,889	1,097,130	8,318	—	10,425,337
2 固 定 負 債					
退職給付引当金	24,449,926	—	2,972,637	—	27,422,563
固定負債合計	24,449,926	—	2,972,637	—	27,422,563
負債合計	33,769,815	1,097,130	2,980,955	—	37,847,900
<b>III 正味財産の部</b>					
1 指 定 正 味 財 産					
寄付金	673,072,829	—	49,414,349	—	722,487,178
指定正味財産合計	673,072,829	—	49,414,349	—	722,487,178
(うち基本財産への充当額)	(372,930,504)	(—)	(49,414,349)	(—)	(422,344,853)
(うち特定資産への充当額)	(300,142,325)	(—)	(—)	(—)	(300,142,325)
2 一 般 正 味 財 産					
一般正味財産	26,203,086	10,419,762	4,823,139	—	41,445,987
(うち基本財産への充当額)	(11,926,915)	(—)	(1,580,348)	(—)	(13,507,263)
(うち特定資産への充当額)	(8,839,161)	(—)	(383,806)	(—)	(9,222,967)
正味財産合計	699,275,915	10,419,762	54,237,488	—	763,933,165
負債及び正味財産合計	733,045,730	11,516,892	57,218,443	—	801,781,065